



避難訓練（地震）～みんなの命をみんなでも守ることも大事～

26日の「県民防災の日」に先立ち、本校では24日（金）に避難訓練と園・小合同の引渡訓練を行いました。「多くの人々が恐怖を感じるような揺れ。棚にあるものが落ちる。不安定な家具などは倒れる。道路に被害が出ることもある」というような秋田県内陸南部を震源とするM6.0という大地震を想定しての訓練でした。

天候が悪く、避難場所を体育館に変えての避難では、子どもたちは真剣な態度で参加していました。災害時における鉄則「自分の命は自分で守る」という意識を高めることができました。また、私からは「みんなの命をみんなでも守る」という話もしました。集団生活をしている場面で災害が起きた時は、自分勝手な行動が自分や周りの人を危険に巻き込むことがあります。だから学校の避難訓練ではみんなが100点の避難をしなければなりません。そういう意味でも、子どもたちは100点満点の姿を見せてくれて、とても感心しました。

東京ディズニーリゾートでは、様々な場所で最悪を想定した訓練を年間180回も行っています。だからこそあの東日本大震災において、液状化現象などにより駐車場やパーク内に水が溢れてきても、パニックになりそうな約7万人いたゲスト全員が、一人の負傷者も出すことなく無事に避難できたとされています。

その後の引渡訓練でも、お家の皆さんのご協力のおかげで、午後4時20分には無事に引き渡しを完了することができました。今回は、お家の皆さんに校舎の1、2階をぐるっと回ってもらいましたが、職員の中では「1階のホールに全校児童を集め、兄弟がそろって待つこともできるのでは」という案も出てきています。次年度に向けて「より安全によりスムーズに」という点でお気づきのことなどありましたら、どうか学校にお知らせください。訓練へのご協力、ありがとうございました。



様々な学びと成長を期待して 縦割り給食（活動）が始まる！

24日の朝、縦割り顔合わせを行い、今年度の縦割り班のメンバーで輪をつくり、自己紹介をしました。それからランチルームに移動して座席確認などをしました。そして昨日から縦割り給食が始まりました。縦割り活動は、この給食の他に、縦割り清掃、なべっこやいろいろな児童集会など、年間を通して様々な活動を行います。それによって、上学年はリーダーシップを、下学年はフォロワーシップを体験しながらグループの仲間意識を高め、集団の中のよりよい在り方を学んでいきます。これからの活動がいつも仲良く楽しく、うまくいくとは限りません。そこでどのように関わっていけばいいのかを考え、改善していこうとする気持ちや姿勢が大切になります。縦割り活動を通して、様々なことを学び、成長していくことを期待しています。

